

アンケートにご協力ください！

セクハラ・デートDV

大垣女子短期大学TuLiP(大垣女短ジェンダーについて考えるサークル)は、市との協働により「みんなに聞いてみよう！自分らしく生きるために～被害者にも加害者にもならないように、セクハラとデートDVについて考えよう～」の一環として、アンケートを実施していますので、皆さんのご協力をお願いします。

- ◆対象/18～30歳の未婚の人(高校生を除く)
- ◆調査内容/セクハラ・デートDVに関する意識など
- ◆回答期限/2月28日(月)
- ◆回答方法/右のQRコードを読み取って回答
- ◆問合せ/大垣女子短期大学教授の茂木さん(☎81-6811)へ



アンケート



天皇誕生日(2月23日)ごみ収集は通常どおり

2月23日(水・祝)が、「もえないごみ・ペットボトル」「プラスチック製容器包装」「ビン・カン」の収集区域は通常どおり収集します。
詳しくは、クリーンセンター(☎89-4124)へ。



市立図書館の臨時休館

市立図書館は、蔵書点検・図書整理のため臨時休館します。
*臨時休館日/2月28日(月)～3月4日(金)
*問合せ/同館(☎78-2622)へ



(☎050-3816-1775)へ。

大垣都市計画道路事業認可図書の縦覧

大垣都市計画道路事業3・3・19号神田神戸線について事業地および事業施行期間の変更を行いました。この変更についての図書は、市街地整備課で縦覧できます。

詳しくは、同課(☎47-8406)へ。



令和3年消防統計



火災・救急・救助出動の状況を紹介します！

大垣消防組合は、令和3年中の火災・救急・救助件数などをまとめた消防統計を作成しました(上石津地域を含む)。

▶出火原因1位は「たばこ」「火入れ(枯草焼き)」

昨年、市内では43件の火災が発生し、前年と比べると9件増加しています。出火原因の中で最も多いのは、「たばこ」「火入れ(枯草焼き)」が各5件、次いで「放火・放火の疑い」「電気機器」が各4件となっています。

毎年、出火原因の上位となる放火の防止策として、家の周囲は常に整理整頓し、燃えやすいものを置かないようにすることです。また、一人一人が火の取り扱いに十分気をつけ、防火対策に努めましょう。

▶救急・救助・緊急出動件数は増加傾向

市内での救急出動件数が7,115件で前年と比べ342件増加、救助出動は46件で前年と比べ14件増加、その他の緊急出動は801件で前年と比べ175件増加となっています。

住所異動の届出は正しく速やかに

住民登録は、氏名・生年月日・性別・住所などが記録され、大垣市民であることを証明する大切なものです。これらは、国民健康保険、国民年金、児童手当などの各種行政サービスの基礎ともなっています。

間もなく、就職・転勤・転入学など、異動シーズンを迎えます。確実に行政サービスが受けられるよう、市外からの転入・市外への転出・市内転居などで住所を移す人は住所異動の届出を速やかに行ってください。

詳しくは、窓口サービス課(☎47-8764)へ。



審議会などの傍聴ができます

墨俣児童館運営委員会		担当：子育て支援課(☎47-7092)
2/21(月)	14:00～15:00	墨俣地域事務所1階 集会室1
・運営状況の報告について ほか		
奥の細道むすびの地記念館企画展示委員会		担当：文化振興課(☎47-8067)
3/1(火)	13:30～15:30	市役所6階 教育委員会室
・令和3年度事業報告について ほか		
図書館協議会		担当：市立図書館(☎78-2622)
3/4(金)	14:00～15:30	市立図書館3階 会議室
・令和4年度事業計画(案)について ほか		

障がいへの理解を深めるために

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により、日々の生活は大きく変化しました。そのような中、障がいや難病のある人はその特性により、マスクの着用ができなかったり、自身の意思とは無関係に咳払いや大きな声が出てしまう症状などについて、周囲の理解が得られない場面があります。

市HPでは、障がいのある人が新しい生活様式の中で困っていることや嬉しかった配慮事例を紹介しています。障がいの特性を知っていただき、ご理解とご配慮をお願いします。

また、市は、市民一人一人が多様な障がいについて理解を深め、だれもが安心して暮らせるまちづくりを推進するため、「障がい者サポーター研修会」を定期的に開催しています。

あなたもこの機会に、さまざまな障がいの特性と必要な配慮やコミュニケーションのポイントについて学んでみませんか。



市HP

障がい者サポーター研修会

- ◆とき/3月18日(金) 午後2時～3時30分
- ◆ところ/市役所8階大会議室
- ◆内容/ハンドブックやDVDを使って、障がいの特性や必要な配慮、簡単な手話について学ぶ
- ◆定員/20人(先着順)
- ◆備考/研修後、登録申請をした人をサポーターに認定し、シンボルマークをあしらったグッズを交付
- ◆申込/障がい福祉課(☎47-7162)へ

